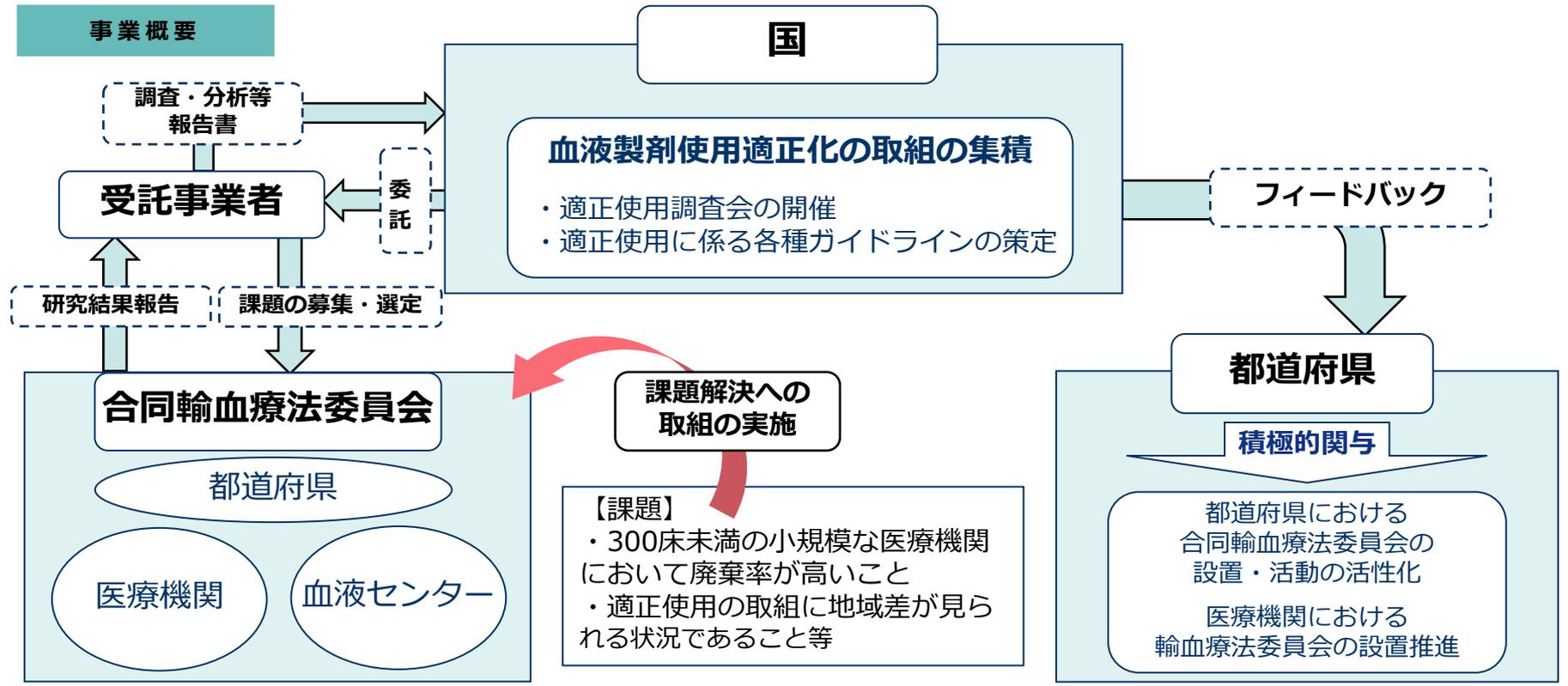


# 血液製剤使用適正化方策調査研究事業の概要

## 目的

- 本事業は、血液製剤の適正使用を推進する観点から、各都道府県における課題とそれに対する取組について調査研究することを目的としている。
- 厚生労働省は、血液製剤の適正使用を推進するために、各都道府県に医療機関や採血事業者等の関係者が参加して、血液製剤の適正使用を推進する上での課題の認識や手法の検討、実施等の取組を行う合同輸血療法委員会を設置を推進しているが、先進的な取組を行う合同輸血療法委員会が主体となって当事業を実施し、全国でその取組を共有することで、効果的な血液製剤の適正使用の方策を推進するものである。

## 事業概要



都道府県名	研究課題名
秋田県	災害時および緊急時の輸血医療連携およびTACOに関する輸血監査と症例共有に基づく啓発活動
新潟県	医療機関における血液製剤の廃棄要因となる過剰発注に対する改善活動とさらなる適正使用推進活動
埼玉県	血液製剤使用適正化に向けた中小規模医療施設における院内輸血療法委員会設置および委員会活動活性化のための実態調査
岐阜県	中小規模病院における血液製剤の使用実態の把握と解析を活用した適正化方策事業の展開
兵庫県	在宅輸血における遠隔輸液管理システムの開発及び小規模医療機関に対する輸血に関する質問対応窓口の試行的設置について
愛媛県	医療機関・赤十字血液センター・県医師会の三者連携による院内輸血体制の整備と地域輸血医療連携の構築
佐賀県	Blood transfusion chainを実現するためのトレーサビリティシステムの基盤づくりーJ-HeSTへの登録体制整備をモデルとしてー
長崎県	離島医療圏への無人航空機を用いた血液製剤搬送体制の実用化に関する研究：社会実装へ向けた課題の視覚化